

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市民芸術文化ホール、堺市翁橋公園	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の更なる向上を図るとともに、魅力及び活力のある地域社会の形成並びに都市魅力の創造及び発信に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化国際部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
平成28年10月1日から令和6年3月31日まで(7年6か月間) (平成28年10月1日から令和元年9月30日までは開館準備期間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関することホールなどを活用した文化振興事業を行うことレストランの管理運営に関すること堺市翁橋公園の維持管理、活用等に関すること避難誘導訓練等を行い、緊急時の対応に備えること駐車場の管理に関する業務	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
非公募	
(非公募の場合、その理由)	
堺市民芸術文化ホールが本市の文化施策における中核を担う施設として、市民の文化力の向上及び魅力と活力のある地域社会の形成や都市魅力を創造・発信していくためには、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」やその指針を遵守し、公共ホールの使命を果たすことが重要である。当ホールの管理運営は、平成27年4月に施行した「自由都市堺文化芸術まちづくり条例」に基づく、文化振興によるまちづくりの観点や本市の文化振興施策との整合性を図る必要があり、当ホールが中枢文化施設として、長期の企画・準備期間を要する優れた舞台芸術や多彩な公演を開催することや専門人材の確保・育成の観点から長期的な視点が必要である。また、堺市翁橋公園は、緑豊かな憩いの場及び来館者を迎え入れるアプローチ空間として、ホールと一体的に整備し、管理運営することが、効率的・効果的な維持管理だけでなく、そのスペースを活用した様々なイベントを主体的に速やかに実施することができ、機能的で有意義な空間活用が可能となる。公益財団法人堺市文化振興財団は、本市の文化振興の推進母体として設立されて以来、市内文化団体や教育機関などと連携して普及啓発事業などを展開してきた実績があり、市と一体となって、公共ホールとしての使命を果たしつつ、実施する事業の質を担保できる。これらの点を踏まえ、採算性と公益性のバランスをとった運営が可能である公益財団法人堺市文化振興財団に随意指定するものである。	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
兵庫県立芸術文化センター	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	発達障害の特性や個々の違い、必要な支援等についての研修を実施し、すべてのスタッフが平等利用に向けた意識醸成への取組を行っている。また、コンサート本番中の災害発生を想定した避難訓練コンサートを実施し、安全かつ円滑に避難誘導を行うように務めた。そのほか、公益財団法人堺市文化振興財団個人情報保護規程を遵守した運用を行っている。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	専門性が高い各分野の主要ポストには優れた実績をもつ人材を登用。劇場、音楽堂等の活性化に関する法律の趣旨を踏まえ、中長期的な人材育成に努めている。また、舞台技術や施設維持管理に係る専門技術スタッフを配置し、施設の適正管理を実施している。
施設の設置目的に沿った事業の実施	クラシックやオペラ等多様な文化芸術振興事業の実施により、市民の文化芸術に触れる機会を創出しており、また貸館を中心に、市民自らが文化芸術活動を行う環境を提供している。またこれに関わるスタッフの人材育成にも取り組んでいる。
その他特筆すべき取組	経験豊富な接遇のプロを講師に迎えた接遇マナー研修を実施し、利用者ごとに丁寧な対応で接することで、利用者満足度の向上に努めている。

イ 市による状況分析

安心・安全に施設を利用いただけるように、施設の防災設備について学ぶ研修や、合理的配慮に関する研修など市民対応に根差した人材育成が実施されており、安定したサービスの提供につながっている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	107,200	197,821	281,084	356,803	—
稼働率(単位:%)	58.5	71.9	81.3	84.5	—
利用者満足度(単位:%)	99.5	96.1	97.9	98.6	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	施設利用に係る簡易パンフレット、企業向けパンフレットの作成など、ホールセールを推進し、また随時施設見学等に対応して施設の魅力を伝えるなど、リピーターの定着を図っている。
意見・苦情・要望等への対応	フェニーチェ堺ホームページからの問い合わせや「市民の声」等お客様への対応を随時行っている。アンケートはすべてスタッフで共有し、対応に時間を要しない案件は速やかに対応し、時間を要する案件は課題解決に向けた議論を重ねている。
その他特筆すべき取組	子どものためのオペラを自主制作で実施し、オーディションで選ばれた若手のオペラ歌手と制作スタッフの稽古の様子をSNSで発信することで、フェニーチェ堺の独自性、創造性をPRできた。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、稼働率及び利用者数は増加傾向にある。また利用者満足度も高い水準を維持しており、利用者数の増加に適応したサービスを提供できている。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団
収入	指定管理料	481,855,148	485,046,797	531,464,898	516,420,927	517,381,000
	利用料金	46,101,605	95,023,169	123,163,135	141,162,612	118,805,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	72,519,005	77,272,271	193,366,267	142,613,214	146,940,000
	合計	600,475,758	657,342,237	847,994,300	800,196,753	783,126,000
支出	人件費	146,457,601	157,320,016	169,907,107	168,266,159	165,500,000
	委託料	281,919,490	301,098,684	387,857,398	352,876,025	387,310,000
	総支出額に占める委託料の割合	48.2%	47.3%	50.3%	48.9%	49.5%
	修繕費	819,730	1,120,624	4,967,476	3,864,972	8,985,000
	光熱水費	52,723,282	66,577,858	89,573,113	75,756,391	86,900,000
	その他	103,233,939	109,893,714	119,077,977	120,323,909	134,431,000
合計	585,154,042	636,010,896	771,383,071	721,087,456	783,126,000	
収支差額		15,321,716	21,331,341	76,611,229	79,109,297	0
(市への納付金の額)		7,660,858	10,665,671	38,305,615	39,554,649	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収入		3,416,791	3,190,529	5,359,047	8,459,146	3,872,375
支出		562,979	481,314	2,424,637	2,701,884	1,358,381
収支差額		2,853,812	2,709,215	2,934,410	5,757,262	2,513,994
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	利用料金収入において、施設稼働率が上昇したことで当初の目標予算額を上回ることができた。支出面においては、物価高の影響を意識し、全体的に儉約に努めた結果、全体収支を黒字で終えることができた。
-------------	--

ウ 市による状況分析

収入面ではコロナ禍からの回復等により稼働率が向上し、利用料金収入が増加したことや助成金の獲得など自己財源の獲得に取り組んだ。支出面では徹底した節電等による光熱水費の縮減や消耗品の消費・購入を抑制することなどで、収支はプラスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
文化芸術振興事業実施回数	鑑賞18、創造・発表3、普及・育成18、諸室活用12、翁橋公園2	鑑賞34、創造・発表7、普及・育成38、諸室活用23、翁橋公園2

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	478,000人	356,803人
施設稼働率(大ホール、小ホール、大スタジオ)	80%	77.1%
施設稼働率(その他諸室)	65%	87.5%
満足度	90%	98.6%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金及び入場料収入	330,000千円	214,788千円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、利用者数や施設稼働率の上昇が見受けられる。また、多種多様な事業を実施するなど、利用者満足度も高い水準を維持しており、安定したサービスを提供できている。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	新型コロナウイルスが5類に移行し、感染症への不安が解消されつつあることから、全体的に利用人数が増加した。また、年間を通して104の公演とワークショップ、文化講座を実施し、中でも新たに企画した翁橋公園の活用事業であるパンフェスタにおいては1日の来場者数が1万人を超えるものとなり、地域の賑わい創出に寄与できた。	海外アーティストによる来日公演を積極的に実施しており、市外からの集客を通じて堺の魅力発信に寄与している。また、翁橋公園の新たな活用事業について、客動線の確保や販売規模などに改善点が見つかるものの、堺まつりの開催日に合わせるなど集客面での工夫も見られ、効果的に賑わいを創出できている。
今後の取組	アウトリーチについて、新型コロナウイルスの影響が少なくなってきたものの、老人保健施設などの調整が困難であり、予定本数未達となった。令和6年度については、商業施設や堺東商店街など新たに開拓した場所での実施にも注力していく。施設稼働率について、全体としては令和4年度よりも増加しているが、大ホールと小ホールは目標に達していないため、平日や利用の少ない月を中心に利用促進のPRを行うなど、稼働の底上げを行う。	文化庁等の補助金獲得による財源確保を進め、地元芸術文化団体である大阪交響楽団や堺シティオペラ等と連携し、引き続き市民に多彩な公演を提供する取組を求める。また、フェニーチェ堺が起点となり、堺東周辺地域の賑わいの創出にも寄与されたい。なお、未達項目について、これまでの運用で満足することなく、企業や団体への積極的な営業活動を実施し貸館来場者数の増加を図るなど、目標達成に向けて積極的に取り組んでほしい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの